

ドライブレコーダー用
駐車監視・駐車録画ケーブル MDR-CCAB01

取扱説明書

この度は本製品をご購入いただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、本書と
ドライブレコーダー付属の取扱説明書をよく読み、
正しくご使用ください。



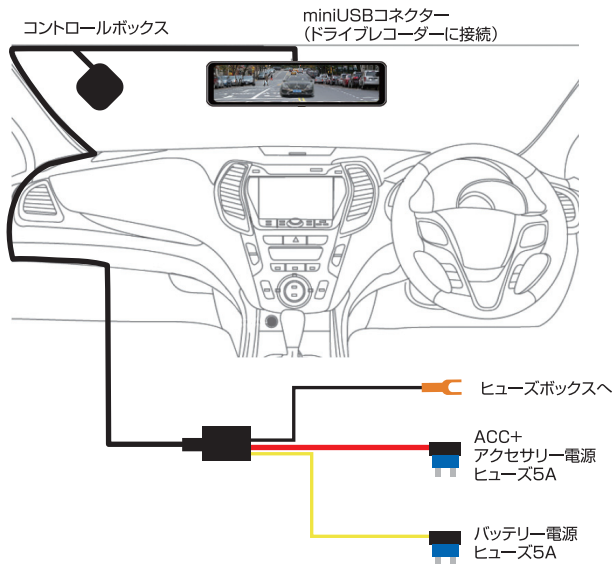
以下の機種 of 駐車監視機能に対応します

《GPS停止連動式》
MDR-C002シリーズ
MDR-C004シリーズ

《ACCオフ連動式》
MDR-C006シリーズ
MDR-C007シリーズ
MDR-C008シリーズ
MDR-C009シリーズ

MAXWIN

接続方法



⚠ 使用上のご注意

- 赤色と黄色のケーブルを同じ電源に接続しないでください。
 - 赤色または黄色のケーブルのみを接続してご使用になることはできません。
 - 配線の前に、必ずエンジンキーが抜かれていることを確認してください。またショート等による事故防止のため、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ※ 本製品の取り付け・配線には、専門技術が必要となりますので 装着は、販売店または専門技術のある方にご依頼ください。
- 車両のスマートキー(車両メーカーによって名称が異なります)を電源ボックスに近づけると、電波干渉により、「スマートキーが見つからない」という車両側の警告が発生する場合があります。
- スマートキーは電源ボックスから30cm以上離してご使用ください。

コントロールボックスについて

保護電圧のレベル、電源供給状態を確認できるLEDランプが付いているので、状態をすぐ確認できます。

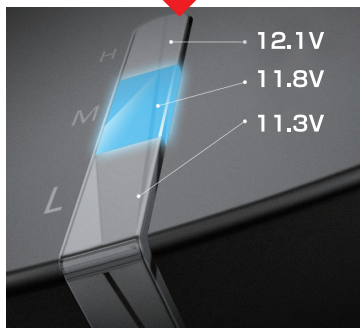


走行中通常録画:点灯
駐車中監視録画:点滅

電源ボタンを
短押しで切り替え

駐車監視中に、お車のバッテリー電圧を測定し、設定した数値まで下がった場合、60秒後に電源が落ち、バッテリーを保護します。

ケーブル側の電源ボタンを短押しして11.3V、11.8V、12.1Vの3つの保護電圧に切り替えができます。



MDR-C002/C004シリーズ

《動体検知録画式駐車監視》操作方法

■動体検知録画とは

画像認識でカメラ前を通る人や車の動きを検知して撮影を開始する機能です。

- 1.本製品を接続します。
- 2.車両エンジンを停止しても本体に電力が供給されている状態で約5分操作が行われない場合、動体検知録画スタンバイ状態になります。
- 3.移動物を検知すると自動的に約5秒録画を行ない、録画終了後に再び動体検知録画スタンバイ状態に移行します。

下記のいずれかの条件を満たした場合、常時録画に切り替わります。

- 液晶画面をタッチ
- 電源ボタンを押す
- Gセンサーにより連続した振動を検知
- GPS信号により車両速度を検知(10Km/H以上)

■動体検知録画機能を作動させる

- 駐車監視機能をオンにするとエンジン停止後も監視をすることが出来ます。
- フロントカメラ撮影範囲の動きを検知して自動的に映像を保存します。
- フロントカメラ撮影範囲の動きが停止すると、録画を停止します。

駐車監視

オフ **低** 高

ご注意

- 「駐車監視」をオフに設定すると、動体検知録画スタンバイ状態に移行されません。
※低電圧保護までに常時録画が行われます。
- 動体検知録画で撮影された映像ファイルは、microSDカードの容量上限に達すると古いファイルから自動的に上書きされます。
重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをおすすめします。
- 動体検知録画スタンバイ状態および、動体検知録画中は本機の液晶画面は表示されません。(液晶オフ)
- リアカメラによる動体検知の機能は動きません。

MDR-C006/C007/C008/C009シリーズ

《タイムラプス録画式駐車監視》操作方法

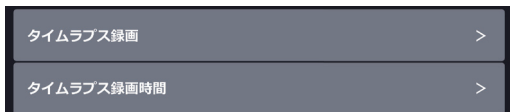
■タイムラプス録画

駐車監視モード中、1秒に最低1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録が行えます。電源接続ケーブルが接続されており、車両エンジンを停止しても本体に電力が供給されている状態でACC電源オフになってから10秒後にタイムラプス録画が開始します。

■タイムラプス録画機能を作動させる

本製品を接続すると、本体の設定メニューに「タイムラプス録画」、「タイムラプス録画時間」の2つの設定項目が表示されます。

- 「タイムラプス録画時間」を設定するとエンジン停止後も監視時間までタイムラプス録画することが出来ます。
- 「タイムラプス録画時間」の監視時間内にエンジンを始動すると、タイムラプス録画が停止し、通常録画が開始します。
- 「タイムラプス録画時間」の監視時間を超える、もしくは低電圧保護状態になるとタイムラプス録画が停止し、本体電源がオフになり、内蔵バッテリーで動作する衝撃検知録画スタンバイ状態になります。



ご注意

- 「タイムラプス録画時間」をオフに設定すると、駐車後には内蔵バッテリーによる衝撃検知録画スタンバイ状態に移行されます。
- タイムラプス録画で撮影された映像ファイルはmicroSDカードの容量上限に達すると古いファイルから自動的に上書きされます。
重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをおすすめします。
- タイムラプス録画中は本機の液晶画面は表示されません。(液晶オフ)
- タイムラプス録画中に電源ボタンを押すと、モニターが約10秒表示し、タイムラプス録画が継続されます。